

# グローバルイノベーション創出支援事業 平成30年度の主な取組み（評議会時点）





HackOsaka

# 国際イノベーション会議

## 国際イノベーション会議 Hack Osaka 2019

### 目的・概要

海外で活躍する若手起業家や大阪イノベーションハブが支援した起業家を紹介するなど、大阪におけるイノベーション創出の取組みと成果を国内外に発信。若者をターゲットに起業家マインドの醸成もめざす。

#### 【概要】

メイン会場：基調講演、世界で活躍する日本人若手起業家による講演、パネルディスカッション、インターナショナルピッチコンテスト(Hack Award)

サブ会場：スタートアップ企業による展示会、関西Student Pitch Grand Prix(各大学のピッチ大会を勝ち抜いた9校の学生によるピッチ)、Monozukuri Hardware Cupの日本予選、スピードデーティング(ベンチャーキャピタル等と起業家等との面談)、チャットングカフェ(登壇者と来場者との対話の場)

### 参加・実施状況

- ・開催日時：平成31年3月13日(水) 参加者：約757人(うち外国人108人)
- ・関西ゆかりの起業家によるパネルディスカッションと、来場者がメイン会場のスピーカーと直接ディスカッションできるチャットングカフェを初めて開催。
- ・OIHのほか大阪市のビジネスパートナー都市、JETRO等のネットワークを活用し、世界中から推薦されたスタートアップ8社を含む10社がHack Awardに出場。翌日には、出場者を中心とした海外スタートアップと国内の企業・投資家等との商談会を開催した。商談件数：65件





### RBC in Osaka 商談会および神戸・京都ツアー

#### 目的・概要

- ・RBC (Regional Business Conference) は、経済産業省・JETROが海外企業の誘致をめざす地方自治体を支援するプログラム(大阪市は政令市で唯一採択)。
- ・海外から著名な投資家・アクセラレーター5社を招聘し、Hack Osakaのスピーカーとして登壇してもらうとともに、国内スタートアップとの商談会を開催。
- ・さらに、オール関西の都市魅力、ビジネス環境を情報発信し、将来的な大阪への投資・立地につなげていくため、主にRBC招聘者を対象とした京都・神戸の視察ツアーを実施。

#### 参加・実施状況

- ・RBC in Osaka 商談会  
開催日：平成31年3月14日(木) 商談件数：39件
- ・神戸ツアー  
開催日：平成31年3月11日(月) 参加者：20名(うち、海外企業12名)  
視察先：神戸市役所、神戸医療産業都市
- ・京都ツアー  
開催日：平成31年3月15日(金) 参加者：18名(うち、海外企業10名)  
視察先：京都iCAP、イノベーションハブ京都の視察



# グローバル展開にむけた取組

## Get In The Ring Osaka 2019

### 目的・概要

- ・2012年にオランダで始まったスタートアップの国際ピッチコンテスト。ボクシングリングに見立てたステージで1対1によるピッチバトル
- ・大阪(OIH)は唯一の日本予選開催地(今回で3回目)
- ・参加スタートアップは、オランダの本部に情報が登録され、海外展開のチャンスが広がる。
- ・参加者全員にVCや企業との個別面談時間を用意
- ・OIHが「世界へつながる場」であることをPR

### 実施状況

- ・開催日時: 平成31年2月28日(木)
- ・来場者 213人
- ・最終審査合格18社(申込み24社)
- ・決勝進出は6社(ライト級4社、ミドル級2社)
- ・優勝者※6月にベルリンで開催される世界大会に出場
  - ライト級(評価額50万ユーロ未満) Sagri  
衛星データと農業データを用いて農業を最適化するアプリケーションの提供
  - ミドル級(評価額50万ユーロ以上) Phybbit  
AI搭載アドクラウド対策サービス



# イノベーション創出に向けた取り組み

## オープンイノベーション（大企業×ベンチャー）

### 目的・概要

・ベンチャーとオープンイノベーションを推進する大企業との連携を促進するイベント。早期に事業化が見込める案件のマッチングや、イノベーション人材間の交流、イベント終了後の継続的なフォローアップなどにより、イノベーション創出を具現化する。

### 参加・実施状況

【第20回：サンスター】平成30年10月22日（月）

【第21回：オートバックスセブン】平成30年11月13日（火）

【第22回：NTTデータ】平成30年12月10日（月）

【第23回：J&J（JTB&JCB）】平成31年2月18日（月）





感動のそばに、いつも。



## ベンチャー型事業承継イベント（アツギソン・アツギピッチ・アツギベンチャー養成講座など）

### 目的・概要

・家業の経営資源を活用した新規事業の開発（新サービス・製品の開発、業態転換、新市場参入など）を目的に、アツギ自身が学び切磋琢磨する機会を創り出すための環境を提供。  
 ・近畿経済産業局、一般社団法人ベンチャー型事業承継等との共催により、家業の経営資源を棚卸しながら新規事業アイデアを拡げる連続講座や、ピッチ、アイデアソンなどを複数回実施

### 参加・実施状況

【アツギピッチ】平成30年9月24日（月）

登壇者：10名、聴講者：100名

【アツギベンチャー作戦会議】平成31年2月6日（水）

参加者：71名（経営者・後継者62名、支援機関等9名）

<NHK「おはよう日本」にて放映（約4分20秒）>



# イノベーション創出に向けた取組み

## OIH5周年記念フォーラム「Osaka Innovation X」

### 目的・概要

- ・OIH開設5周年を記念し、その軌跡を振り返るとともに、大阪市の助成金を活用して開設された市内のイノベーション拠点とともに次の5年を見据えたビジョンを共有することで、イノベーション・エコシステムの構築に寄与する。
- ・【第一部】株サイバーエージェント藤田社長による記念講演、  
「イノベーション拠点」ライトニングトーク、  
起業家ディスカッションなど
- ・【第二部】交流会・名刺交換会

### 参加・実施状況

開催日時: 平成30年11月30日(金)  
参加者数: 240名



## PRツール充実(イノベーション・ディスプレイ、起業家ライブラリー)

### 目的・概要

- ・プロジェクト創出に寄与した製品等の展示により、大阪市・OIHが取り組んできた成果を可視化。
- ・OIHが支援する起業家を紹介するライブラリーを充実(パンフレット作成、HP掲載)
- ・このようなPRツール充実により、起業家の活動を側面支援。



## 目的・概要

創業前後のベンチャー企業を対象に、起業経験者や、オープンイノベーションを志向する大企業、VC、メディア等が連携して支援することで、事業化を加速(アクセラレーション)させ、関西のイノベーション創出力の強化をめざす。

### 【概要】

- ・1クール4ヶ月間で、支援プログラムを実施。
- ・メンター陣による各種勉強会や個別メンタリングにより、ビジネスモデルをブラッシュアップ。
- ・VCとの集中メンタリングや、大企業とのネットワーク構築機会の提供、デモデイ等により、投資や事業連携をめざす。
- ・成果として、大企業との事業連携または資金獲得をめざす。

## 参加・実施状況

第5期:6月中旬～10月中旬      第6期:11月中旬～3月中旬  
支援企業数:計20社

実績:資金調達18件 17億255万円 (これまでに計6期、60社の支援を実施、総額42億円を超える資金調達に成功)  
大企業等との事業提携 4件 (これまでの総計としては、47件提携済)  
メディア露出件数:35件



## テックミーティング

### 目的・概要

大学の持つ研究技術シーズをもとに、新事業創出を支援する。

### 参加・実施状況

#### ◎大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC) Innovators Meeting／Innovators Conference

開催日時:平成30年9月26日(水) (参加者約60名)

概要:テクノロジーベンチャーの起業に関心のある人、大企業の新規事業担当者等を対象に、大阪大学が事業化を推進する研究成果と、起業家人材のマッチングを目的として実施。



#### ◎JSTの特選特許を活用し、ビジネスを加速させる！～関西で生まれた技術やさかい～

開催日時:平成30年10月29日(金) (参加者約40名)

概要:ベンチャー企業等を対象に、JSTの知財活動および活用方法、JSTの情報通信分野の実用化に近い特許技術の説明を行い、ポスターセッションによる集団・個別の相談会を実施。

#### ◎研究開発型ベンチャーのための公的資金活用セミナー

開催日時:平成30年11月27日(火) (参加者約50名)

概要:これまでに公的資金を活用したことがない中小企業やベンチャーを対象に、300万円～500万円程度のギャップファンド的な公的資金をテーマにした「公的資金活用セミナー」を実施。

#### ◎大阪市立大学【SDGs Tech Meeting】(イノベーションストリームKANSAI 内で実施)

開催日時:平成30年12月18日(火) (参加者約80名)

概要:企業の新規事業担当者、技術系商社、政府・自治体の担当者等を対象に、大阪市立大学が保有するSDGsへの貢献可能性が高い研究成果を発表し、参加者との交流会を実施  
(SDGsテーマは7、14、15)



## 大阪市イノベーション創出支援補助金

### 目的

大学の持つ研究・技術シーズをもとにした産学連携の研究開発にかかる費用の一部を補助し、その実用化に向けた取組みを推進し、もって本市の経済活性化およびイノベーション創出を図る。

### 概要

#### 補助対象者

国内の大学(大学の研究者)

#### 補助対象事業の要件(以下の全てに該当)

- ・産学連携による研究開発事業
- ・研究成果・技術の実用性を検証する事業
- ・大阪市内に事業所を有する民間企業または個人との連携事業
- ・同一の研究課題について他の補助金を受けていないこと

#### 補助対象経費及び補助額

対象経費：設備費、材料費および消耗品費、旅費、謝金  
その他

補助率：1/2 上限額200万円  
(補助金以外の経費は連携先が負担)

※平成31年度から、大阪市内の大学に限り、  
大阪市内の民間企業または個人との連携事業も  
対象事業の要件に加えて実施

#### 交付確定件数(大学別) ※ H23年度は実証性検証補助金として実施

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
大阪市立大	2	1	3	4	6	5	2	23
大阪大	1	3	2	2	1	3		12
大阪府立大	2	1	3	1	2			9
立命館大	1	1	1					3
同志社大	1					1		2
大阪電気通信大		1						1
大阪医科大		1						1
室蘭工業大		1						1
徳島大				1				1
関西大					1			1
神戸大						1	1	2
兵庫県立大						1		1
和歌山大						1		1
東京医科歯科大						1		1
相愛大							1	1
大阪工業大							1	1
奈良女子大							1	1
東京女子医科大							1	1
計	7	9	9	8	10	13	7	63
予算(百万円)	20	20	20	15	13	13	13	

## ゆびとん

### サービス内容

盲ろう者のコミュニケーションを拡大するデバイス。  
(触手話で用いられる指点字の入出力デバイス)  
名称は、指での入力 と Ubiquitous + Tone をかけたもの。

### OIHの支援

ミライノピッチ(学生部門)出場をきっかけとして、事業ブラッシュアップのためのメンタリングや、露出機会の提供(国際イノベーション会議Hack Osaka 2019サブアリーナでのブース出展)など。

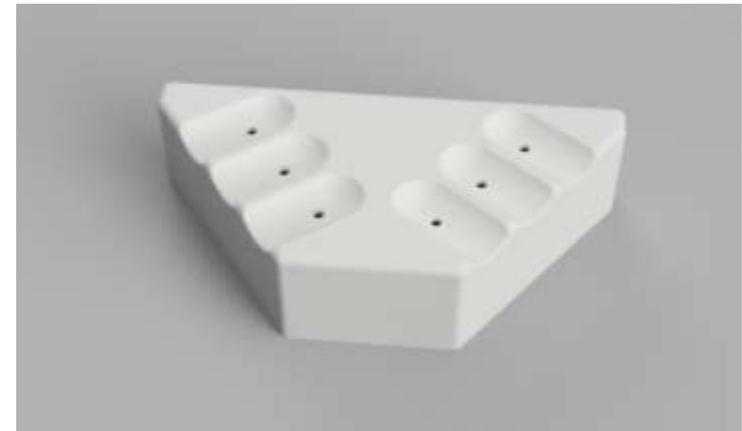


写真:ゆびとんホームページより

## Sagri

### サービス内容

衛星データと農業データを用いて、独自の技術で農学的に農業を最適化するアプリケーション「Sagri」の提供

### OIHの支援

- ・Get In The Ring 2019 エントリー後、英語でのピッチトレーニング
- ・今後、ベルリンで行われる世界大会にむけたサポートを行うほか、関西のアグリテックベンチャーとして露出をサポートしていく。



写真:Sagriホームページより

## 若手サミット

### 概要

- ・地域の産官学の若手が集まり、地域の課題の解決策や新しい未来について語り、繋がり、そして共に行動を起こすためのコミュニティ。
- ・主に名古屋を中心とした東海地方で活動を続けてこられ、2019年3月に大阪での活動をトライアル的に始動。



### 活動内容

- ・地元の産学官(企業や自治体、NPOといった様々な組織)の若手がイベントを通じて集結し、地域の課題を自分事として捉え、その課題の解決と地域の未来創造のための、実行可能なアイデアや持続可能なビジネスモデルを創出するイベントを開催。名古屋開催では、イベント後も活動をチームが生まれ、実証実験まで実現した例もある。
- ・イベントで発生したつながりやアイデアを活かして、若手がやりたいことを具現化するため活動する。



地域課題をテーマに10代～50代の参加者(約40人) デザイン思考を取り入れたワークショップ



現地へのフィールドワーク



アイデア具現化の実践



イベント後の実証実験

上記は、名古屋地区の公式HP(<https://www.facebook.com/wakatesummitKNS/>)より抜粋。  
 関西地区の詳細は関西地区の公式HP(<https://www.facebook.com/wakatesummitKNS/>)を参照。